

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

剣淵町農業ブランド化推進プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道上川郡剣淵町

3 地域再生計画の区域

北海道上川郡剣淵町の全域

4 地域再生計画の目標

北海道剣淵町は、北海道の中央よりやや北に位置し、東西 10.8 km、南北 12.6 km、総面積 130.99 km²の、北海道の中では小さなまち、農業を基幹産業としてきた。しかしながら、低価格の海外製品の普及や嗜好の変化等の外部要因と、補助金頼みで従来と変わらない取組を続けた内部要因の両面を背景に、主たる農業の生産が先細る状況が続いている。基幹産業の衰退による雇用機会の減少の結果、人口流出と急速な高齢化が最大の課題となっている。

そのため、当該地域における最大の資源である農地及び農産物を活用して、多様な主体と連携しながら新たな地域ブランドの立ち上げ、穀物キヌアの産地化、町産農産物・加工品の付加価値向上及び新規販路の開拓事業を一体的なプロジェクトとして実施することで、農業の再興を起点として、担い手・新規就農者の確保、人材の育成、地域商社を拠点に地域ブランドによる物流をつくり雇用の創出、さらにはまちの賑わい創出にもつなげ、高齢化及び人口減少に歯止めをかけることを目的とする。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末	KPI 増加分 の累計
新規就農者	4 人	1 人	1 人	1 人	3 人
雇用の創出	4 人	1 人	1 人	1 人	3 人
農産物・加工品 販売取引企業件数	1 件	1 件	2 件	2 件	5 件

※各年度の数値は、対前年度比増加分

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

医福食農連携、農商工連携及び官民協働の取組により地域ブランドを確立し、商品販売力を高めて農家所得や知的障がい者施設利用者による加工品の工賃の向上、健康食の提供により外食業の売上を増加させ、地域経済を活性化させる。機能性・栄養価が高くかつ希少とされる穀物キヌアの産地化を図り、健康テーマにキヌアの加工品開発や食づくりに取組むことにより、高齢者、妊婦・乳幼児やアレルギー性疾患患者など高栄養必要者の健康づくりを支援する。また、地域商社が強力な差別化アイテムとなるキヌアを中心とした農産物・加工品を販売し、地域ブランドによる物流をつくり雇用を創出する。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

北海道剣淵町

② 事業の名称

福食農連携・官民協働による地域ブランドづくり事業

③ 事業の内容

- ・道農業試験場や農業改良普及センターの協力の下、キヌアの栽培技術の確立と普及。
- ・高齢者や妊婦・乳幼児、アレルギー性疾患患者など高栄養必要者に対し、それぞれに向けた栄養士監修による健康「食」メニューづくり。
- ・町内の高齢者施設・レストラン・飲食店での町産キヌア・農産物を使用した健康メニューの提供。
- ・コープさっぽろ（消費者団体・札幌市）、（株）カタクラフーズ（魚醤製造・稚内市）、道食品加工研究センターなど産学官協働によるキヌア加工品の協同開発と販路開拓。
- ・福祉施設（知的障がい）によるキヌア加工品の製造と（株）レークサイド桜岡（三セク）による販路開拓。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

（株）レークサイド桜岡（三セク）が新たな農業ブランドで販売する農産物・加工品の売上高の増大と、キヌア加工品のマーケットを掘り起し高付加価値販売により高収益を確保する。

【官民協働】

行政がコーディネーターとなり、北ひびき農協や町商工会（外食業）はもとより、（福）北斗会、（株）レークサイド桜岡、（株）カタクラフーズ（水産加工）及びコープさっぽろ（消費者団体）とも連携し、福祉・医療サービスの向上と農業の産業化を実現する。

【政策間連携】

農福連携によるキヌア加工品開発への取組により、農業を成長産業へと昇華させるとともに、（福）北斗会施設利用者の工賃が向上し福祉サービスの充実が図られる。また、キヌアを中心とした地元食材による健康食メニューを創作し、商店街の集客力を高め活性化させ、高齢者施設の食事に高栄養のキヌア加工品を使用し、介護予防・健康づくりの取組の一環とする。

【地域間連携】

国産キヌアは希少であり、本町で産地化を目指す、府県での取組事例も散見されることから連絡協議会の設置も視野に、生産技術等の情報交換を行う。また、地域ブランド力を高めるため、道北の自治体と連携し、首都圏での商談会を開催する。

【その他の先導性】

特になし

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	事業開始前 (現時点)	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末	KPI 増加分 の累計
新規就農者	4 人	1 人	1 人	1 人	3 人
雇用の創出	4 人	1 人	1 人	1 人	3 人
農産物・加工品 販売取引企業件数	1 件	1 件	2 件	2 件	5 件

※各年度の数値は、対前年度比増加分

⑥ 評価の方法、時期及び体制

毎年度末に、まちづくり団体、公募による住民のほか、外部有識者（産官学労言等の各分野の専門家）で構成されたまちづくり町民会議を設置し、個々の事業について PDCA サイクルによる検証を実施する。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。検証結果はホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

① 法第 5 条第 4 項第 1 号イに関する事業【A3007】

総事業費 39,370 千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から、平成 31 年 3 月 31 日（3 カ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

（1）官民連携による農産物ブランド化推進事業

事業概要：絵本の里の特色を活かした農産物ブランドの確立を目指し、地域商社による新たな販売環境の整備、福祉施設（知的障がい）との連携による加工食品の生産・販売及び食と観光の強化によりブランド力を向上させる。また、若手農業者グループ（VIVA マルシェ）による攻めの農業を実践し、生産者の顔が見える流通・販売体制の構築を図り、高付加価値販売や販路拡大を支援する。

実施主体：北海道上川郡剣淵町

補助制度名等：地方創生加速化交付金（内閣府）
（平成 28 年度のみ活用）

事業期間：平成 27 年度～平成 28 年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成31年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度各指標の集計を行い、まちづくり町民会議において結果について評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けて必要な計画の見直しや変更を行う。

目標1

新規就農者数については、農業振興センターが毎年度末時点で北ひびき農協と連携により把握する。

目標2

雇用の創出については、町づくり観光課が毎年度末時点で商工会等と連携により把握する。

目標3

農産物・加工品販売取引企業件数については、農林課が毎年度末時点で(株)レークサイド桜岡等と連携により把握する。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成29年 3月末	平成30年 3月末	平成31年 3月末	KPI 増加分 の累計
新規就農者	4人	1人	1人	1人	3人
雇用の創出	4人	1人	1人	1人	3人
農産物・加工品 販売取引企業件数	1件	1件	2件	2件	5件

※各年度の数値は、対前年度比増加分

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、まちづくり町民会議の事務局である町づくり観光課が毎年度末時点でホームページにより公表を行う。